

ライトアップやデジタルアートなど異空間が楽しめる  
青葉トンネル―神戸市立森林植物園

動画は  
コチラ



## トンネル彩る光の芸術 神戸・森林植物園

神戸市北区山田町の市立森林植物園で、歩行者用トンネルのライトアップやデジタルアートが行われており、来園者らは森の中の異空間を楽しんでいる。園内にある長さ約90メートルの青葉トンネル。2015年から季節ごとにライトアップを始め、今年には「光と樹木の饗宴」をテーマにデジタルアートとシャドウアートを加えた。

デジタルアートは、園内の写真が投影されるスクリーンの前で来園者が体を動かすと、チョウをモチーフにした絵が浮かび上がり、反応してフワフワと飛び回る仕組み。光源との近さで影の形が変化するシャドウアートも体験できる。

12月26日まで三つのパターンを展開する予定で、9月28日までは青系にライトアップする夏バージョン。同園の担当者は「秋の草花の観賞と共に楽しんでもらいたい」と話している。

午前9時～午後5時。水曜休み。入園料300円（小中学生150円）。森林植物園 ☎078・591・0253

（長嶺麻子）